

報告書（案）

我が国におけるオープンサイエンス 推進のあり方について（仮題）

～我が国のあるべき姿の形成に向けて～

国際的動向を踏まえたオープンサイエンスに関する検討会

目 次

エグゼクティブ・サマリー	1
はじめに	3
I. オープンサイエンスの重要性	5
1. オープンサイエンスの国際的広がり	5
2. 国際的オープン化の動き	5
3. オープンサイエンスで変わる研究のスタイル	5
4. オープンサイエンスの主たる構成要素	6
II. 国際的動向に見るオープン化の必要性	11
1. 研究成果を自由に再利用、イノベーションにつなぐ基盤づくりが必要	11
2. 研究成果の質と透明性の確保	12
3. オープンサイエンスの推進と人文・社会科学の役割と増大	12
4. 国際的潮流に乗り遅れることのデメリットへの対応	12
III. オープンサイエンスに関する国際動向への対応について	14
1. 国としての基本姿勢・基本方針について	14
2. オープンサイエンス推進の基本的考え方	15
3. 関係機関におけるオープンサイエンス実施方針等のあり方	16
4. オープンサイエンスを推進する際の留意点	19
5. 今後の検討課題等	21
IV. 参考資料	23
1. 我が国におけるオープンサイエンスの現状	23
2. 海外における動向等について	29
3. 海外における研究データ等の置き場（データリポジトリ）	32
4. 学術誌出版界におけるオープンアクセス（データ）ジャーナルの現状	33
5. 国際的動向を踏まえたオープンサイエンスに関する検討会の開催について	35
6. 検討会構成員名簿	35
7. 検討会の開催状況	36
8. 用語の説明	37
参考文献・資料	39